

Vapalux Kerosene Lanterns

取り扱い説明書

Instruction for Operating



Vapalux®



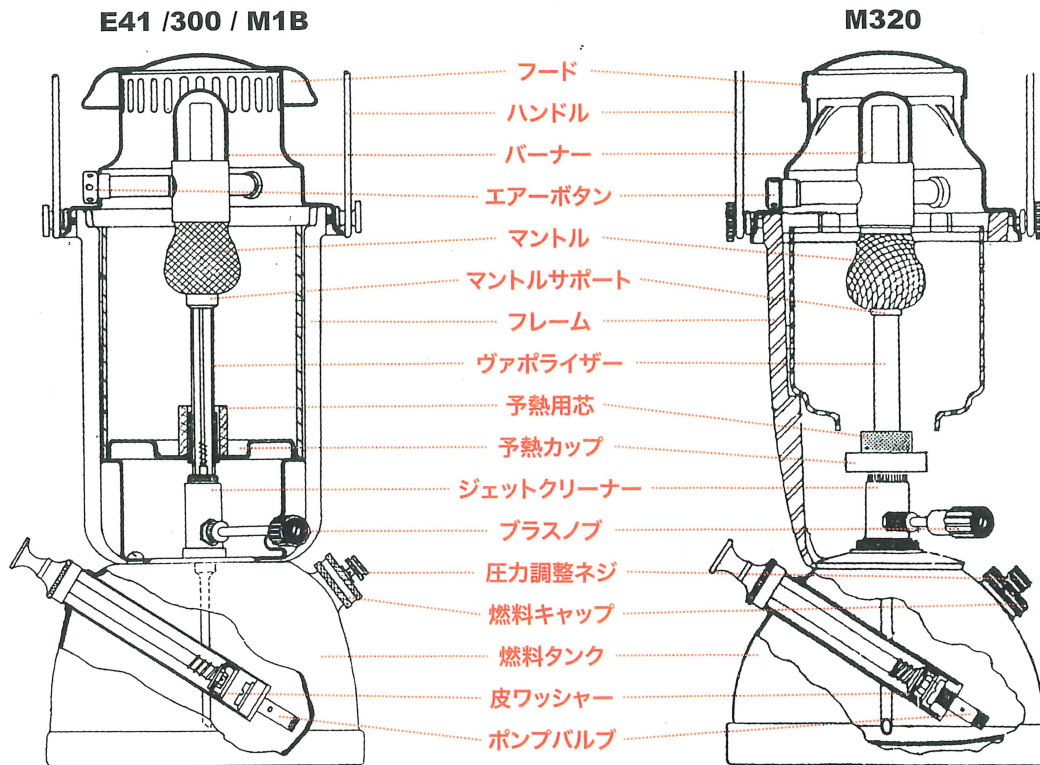
警告

Vapaluxランタンを安全に正しくお使いいただくために、以下の内容を必ずお守りください。

以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

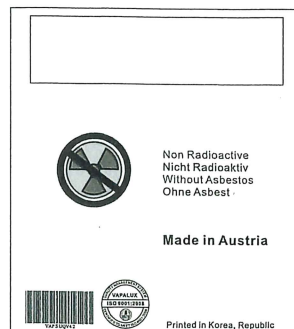
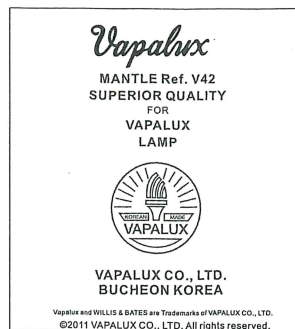
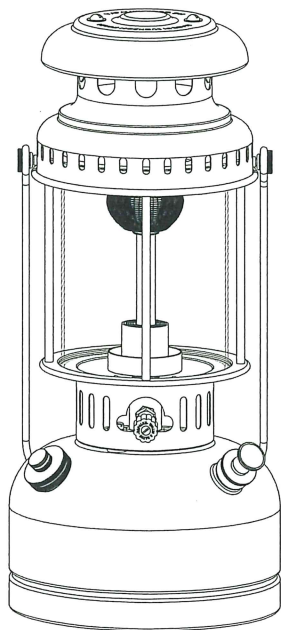
- 必ず野外の通気の良い場所でご使用ください。屋内や狭いテント内で使用すると、火災等重大事故の原因となりますので絶対にお止めください。
- 不安定な場所に置いて使用しないようにしましょう。転倒すると火災等重大事故の原因となります。
- 燃料は灯油を使用しましょう。ガソリンスタンドで売られている一般的なもので問題ありません。ただし古いものは使用しないでください。不完全燃焼の原因となります。
- 燃焼中または給油の際は、タバコ等の火気を近づけないでください。
- 燃焼状態が安定しない、煤が出るなどの異常状態のまま使用しないでください。
- 穴の空いたマンツルのまま燃焼すると、グラスチューブ破損の原因になります。必ず使用前にチェックしましょう。
- 燃焼中または消火後、しばらくはランタン上部は高温になっていますので手を触れないようにしてください。
- 燃料を入れたまま夏場の車中等、高温になる場所に放置しないでください。
- 保管及び運搬の際は必ず燃料を抜いてください。
- 燃焼中は放置しないでください。ごくまれに不純物がつまることが原因で息継ぎをおこしたり、燃焼不良になる場合があります。常に状態を確認できる、目の届く場所で使用してください。

各部の名称



(注) 現行品とは細部が異なります。主要な燃焼パーツはともに共通です。

パッケージ内容・開封

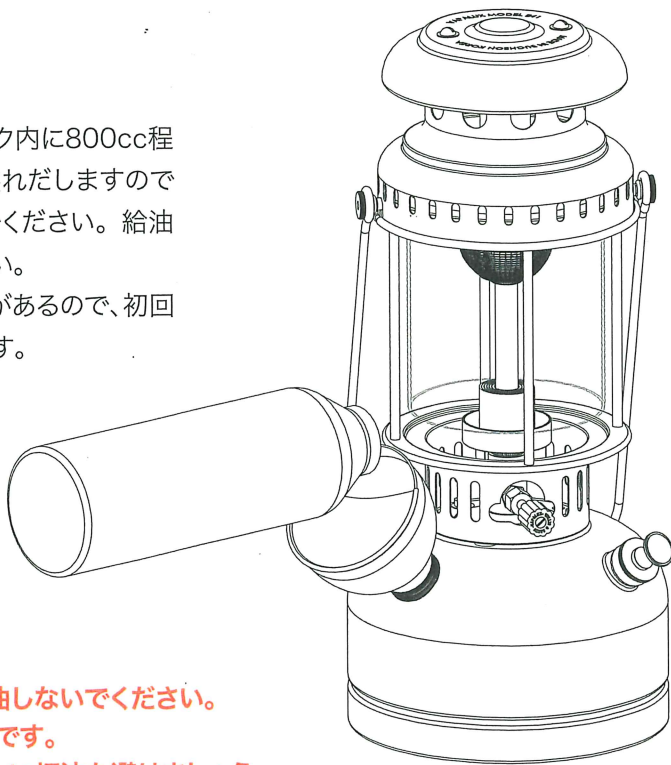


内容物：ランタン本体・マンテル2枚(1枚は装着済み)・本説明書
※マンテルのパッケージは異なる場合があります。

パッケージから本体を取り出し、ハンドル横のネジをゆるめ、フードとバーナーをはずし、グラスチュームニーまわりの梱包を完全に取り外してください。バーナーに装着されているマンテルがよじれていれば、12ページ「マンテルの交換」を参照し整えてください。 ※ランタン本体のイラストはE41となります。

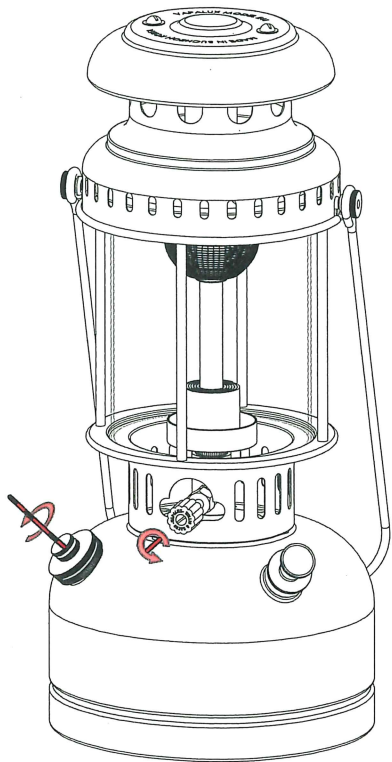
点火方法 給油

ジョウゴを用意し、燃料キャップを取り外し、タンク内に800cc程度の灯油を入れてください。給油口を超えると溢れだしますので気をつけてください。給油中は本体を傾けないでください。給油後、燃料キャップはしっかり確実に締めてください。
※タンク内に製造時の不純物が残っている場合がありますので、初回のみタンク内を灯油で軽く洗うことをお勧めします。



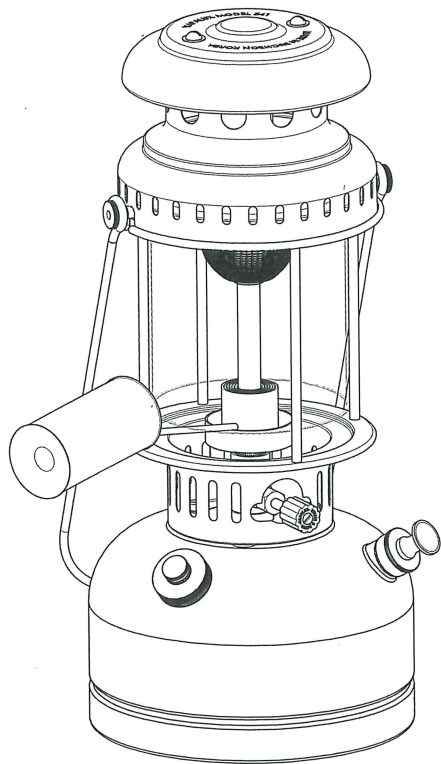
**絶対にガソリンやアルコールを給油しないでください。
ランプ用オイル(パラフィン)もNGです。
黄色く変色していたり臭いのおかしい灯油も避けましょう。**

点火方法 プラスノブおよび圧力調整ネジの状態チェック



先ほど締めた燃料キャップ先端の圧力調整ネジが完全に開放しているか確認してください(反時計回り)。
またジェットクリーナーからのびるプラスノブが反時計回りで止まっている状態か確認してください。

点火方法 アルコール予熱（プレヒート）

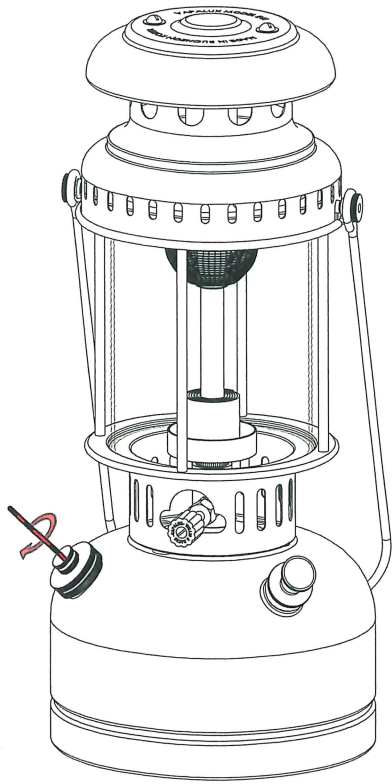


薬局等で燃料用アルコールを入手いただき、図のようなアルコールコンテナを用意してください。
フードは外さず、グラスチムニーを持ち上げ、アルコールコンテナの先を挿入し、予熱カップへ満タンになるまでアルコールを注いでください。そして予熱カップに満たされたアルコールへ火を付け予熱してください。ヴァポライザー全体を暖め始めます。



ポイント: 灯油はガソリンと比べ沸点が高めのため、このような予熱作業が必要となります。詳しくは15ページの「附録：灯油ランタンの仕組み」をご覧ください。

点火方法 ポンピング開始



3分もするとアルコールの量が残り少なくなってきます。
予熱カップのアルコールがなくなる直前で、圧力調整ネジを
しっかり締め、ポンピングを開始してください。

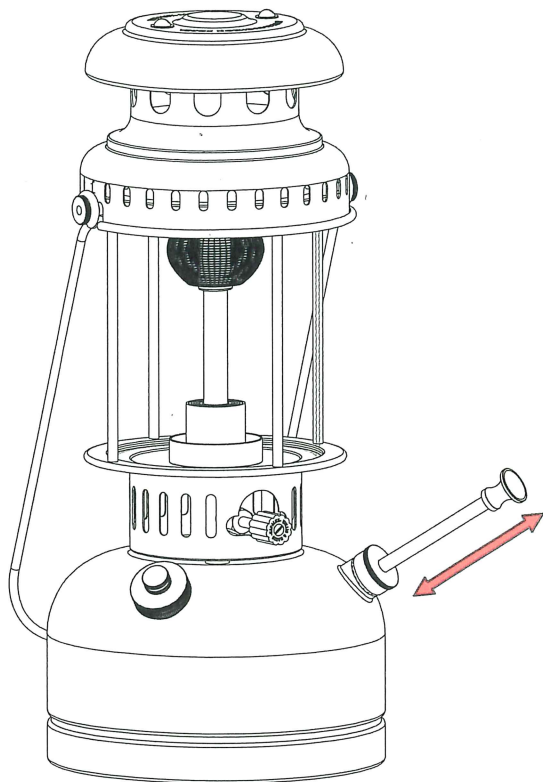
フルストロークでゆっくり時間をかけながら10回程度ポンピ
ングしましょう。バーナーから出るガスに火が移り、マントル
が点灯します。

最初は圧力が低いため、息継ぎを起こす場合がありますが、
10回もポンピングすれば安定してきます。

しばらく30秒ほど様子を見ましょう。

この待つ時間もスムーズな気化を促進する助けとなります。

点火方法 追加ポンピング



灯りが安定すれば、追加で最大30回程度ポンピングしてください。満タン時で合計35回～40回程度が目安です。
この時点で炎が出るなどの不完全燃焼の症状が出たら、次のページを参照し、速やかに消火してください。再度予熱して点火してください。

ポイント1: 燃焼中、時間が経てば燃料とともに圧が減り炎が弱まってきますので、様子を見ながら追加ポンピングしてください。

ポイント2: 不純物がニップル穴（燃料吹き出し口）に詰まり、燃焼が弱くなったらプラスノブを半周すばやく回して戻してください。ニードル針の上げ下げでニップル穴の詰まりが解消されます。

オーバーポンピングにメリットはなにもありません。ヴァポライザーに負担をかける原因となります。

またニップルのクリーニングは頻繁に行わないでください。ニップル穴が広がり燃料過多の原因となります。

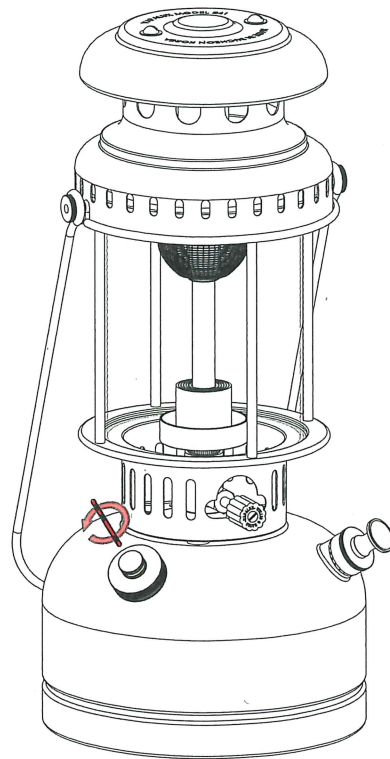
消火方法

圧力調整ネジを一気にゆるめ、圧を抜き消火してください。
タンク内に燃料が残っている間でも常に、圧力調整ネジと
プラスノブとともに反時計回りの状態で開いたままにしておい
てください。

保管時は基本的にこの状態です。

ポイント1: 圧力調整ネジが開放されているとタンク内の圧が上がらな
い→保管時、外気温の変化によるタンクの内圧上昇で燃料がヴァポライ
ザーに上がることを防ぐ→次回の点灯で不完全燃焼にならない。

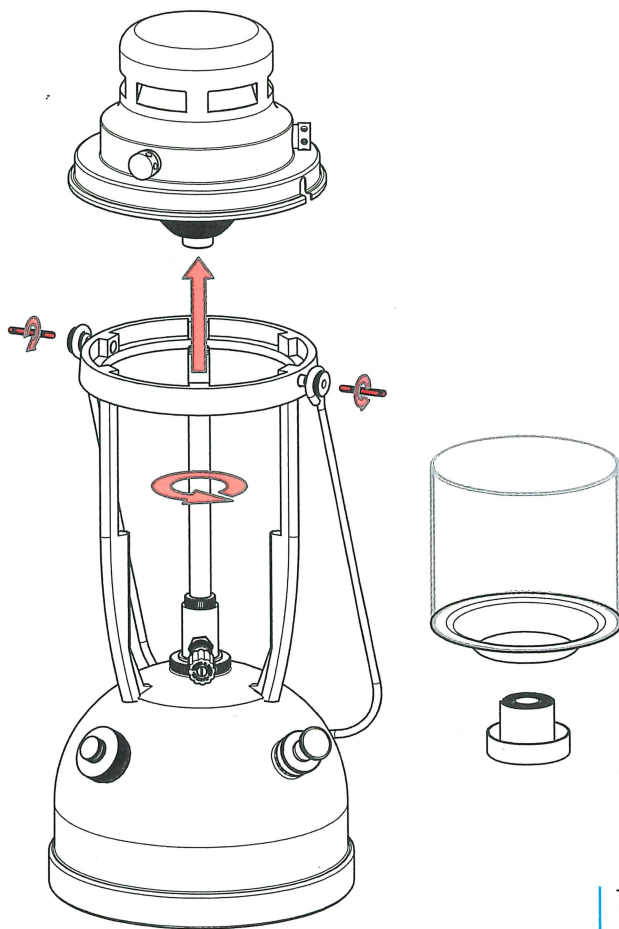
ポイント2: プラスノブを常に反時計回りのままにしておく→ヴァポライ
ザー上部のニップル穴(燃料吹き出し口)やニードル針の消耗を防ぐ。



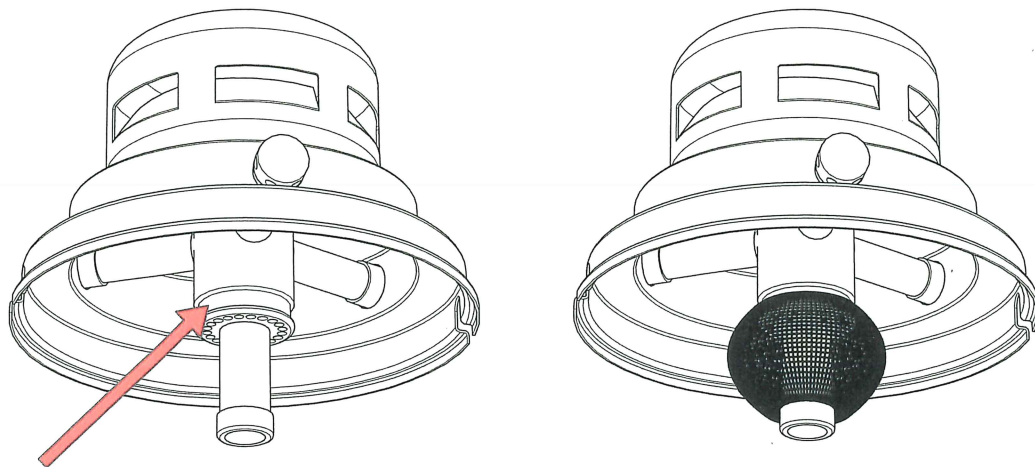
メンテナンス ヴァポライザーの交換

1. フード横のネジを緩めます。
2. マントルの破損に気をつけながら、フードとバーナーを取り出します。
3. グラスを外します。
4. 予熱カップを取り出します。
5. 上から手を入れ、ヴァポライザーを掴み外します。
6. 新しいヴァポライザー内のロッドが落ちないように片手で補助しながら、上からねじ込み、手で締め付けます。

※イラストはM320となります。グラス下の受け皿も外してください。



メンテナンス マントルの交換



冷え切った状態で、フードとバーナーを取り外します(E41のフードとバーナーは別体)。次にバーナーの燃料ガス吹き出し口上の溝に引っかかるようにマントルの大きい穴を通し結びつけます。次にマントルの小さい穴をマントルサポート下部のくびれに引っかけて結びます。最後、ねじれが無いよう形を整え、余ったひもをカットします。
※イラストのフードとバーナーはM320、右イラストのマントルは燃焼後炭化して丸くなった状態です。

メンテナンス ワッシャーセット



1" Filler Cap
Washer V.811
A1202



Jet Cleaner
Washer V.23
A1046



Pump Valve
Washer(EXT.)
V.33
A1042



Vaporizer Washer
V.44
A1056



Air Release Screw
Washer V.9
A1044



JC Gland Nut
Washer V.28
A1053



Pump Valve
Washer (INT.)
V.34
A1040



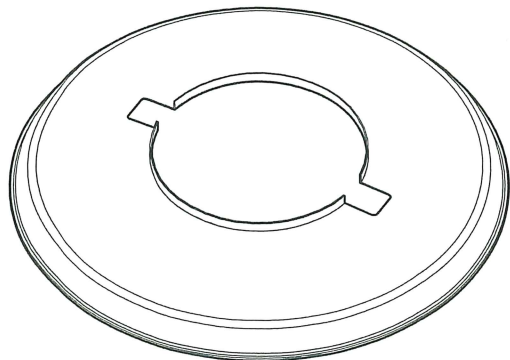
Pump Leather
A1039

下記パーツ用ワッシャー

左上から時計回りに
燃料キャップ
ジェットクリーナー
ポンプバルブ
ヴァポライザー
ポンプ皮ワッシャー
ポンプバルブ内
プラスノブ根元
圧力調整ネジ

アクセサリー

ライトシェイド

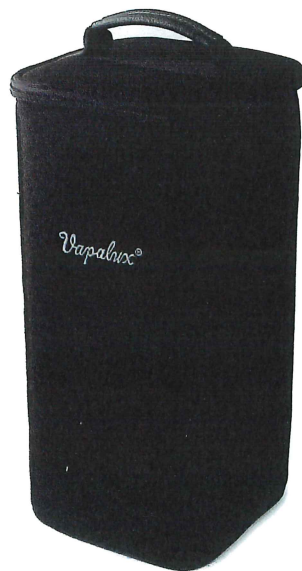


素材:CESP-C

仕上げ:ポリッシュ、エナメルもしくはパウダー塗装

カラー:ポリッシュドグラス、ブラック、アーミーグリーン、etc

ソフトケース

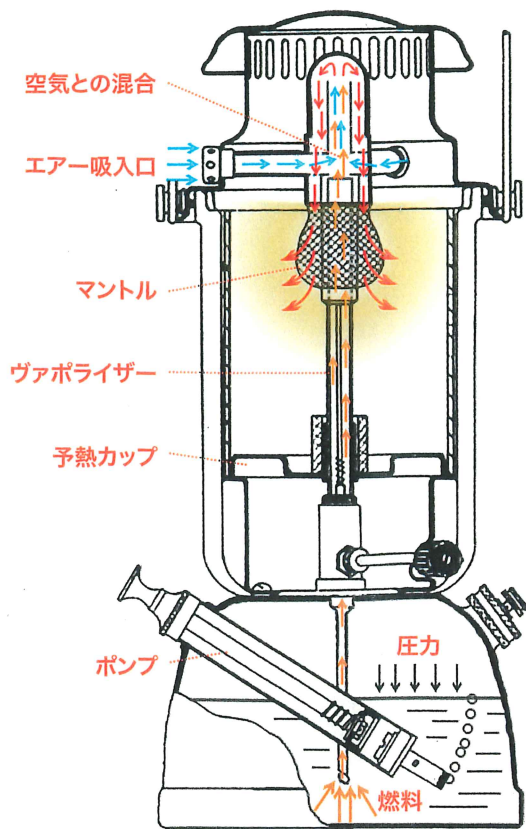


本体素材:インサレーション入りコットンキャンバス

ハンドル・ジッパー・グリップ素材:牛革

サイズ:高さ約40cm、幅・奥行き約18cm

附録 灯油ランタンのしくみ



灯油ランタンとは簡単に言えば、液体の灯油を気化させ空気と混合させた燃えやすいガスを作り出す装置とってください。

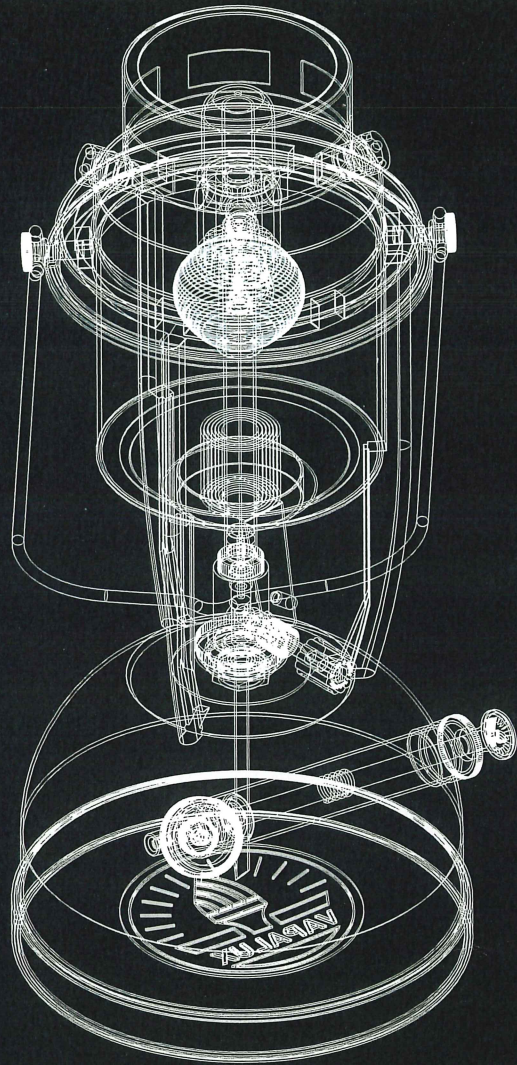
(加圧) 燃料タンクはポンピングにより加圧されます。この圧力は、気化器(ヴァポライザー)へ液体灯油を押し上げるのに用いられます。

(予熱) マンテルに火をつける前に、まずはヴァポライザーの中で液体灯油をガス状にしなければなりません。そのため、予熱カップに注いだアルコールを燃やしヴァポライザーを十分に熱します。これを予熱(プレヒート)と呼びます。

(燃料の気化) 一度ガス化した灯油に火がつくと、マンテルから吹き出す熱によって、ヴァポライザー内の液体灯油は常に気化され続けます。液体灯油はほぼ250°Cで完全に沸騰し蒸発します。ガス状になった灯油は、温度を高めながら、ほとんど音速に近い速度でヴァポライザー上部のニップルから吹き出します。

(空気との混合～燃焼) 圧縮されたガス状の灯油は一気に膨張しながら、バーナー内の小さな空間で、エアボタンから吸い込まれた空気と混ざりあいます。完全に混合されたクリーンなガスはバーナー下部のノズルから吹き出し、燃焼しながらマンテルにぶつかり、白いまぶしい輝きを生みます。

この基本的な仕組みは、全ての加圧式ランタンに共通です。これをご理解いただければ、ランタンのメンテナンスに大いに役立つかと思います。



Vapalux[®]

Specifications

Height : 345mm

Heat Output : 1KW

Fuel capacity : 1 Litre

Burn time : Approx. 10hrs

Light output : 60W (approx)

Country of manufacture : Korea, Republic

